

表紙のボクたち、ワタシたち



小野寺 珠菜ちゃん (6歳)  
ひなみ 陽泉ちゃん (4歳)  
こうだい 航大くん (1歳)



一関市東山町松川字深堀

松川小学校に通う珠菜ちゃんは鬼ごっこが好きで、一輪車が得意な小学一年生。最近は自転車に夢中な明るい女の子です。妹の陽泉ちゃんは松川保育園のそら組で、なわとびとフラフープが得意で元気いっぱいです。航大くんは走り回るのが大好きで、どこまでも走っていか。

そんな航大くんのことを「とてもかわいくてだいすき」と面倒見の良いおねえちゃんの珠菜ちゃんと陽泉ちゃんは話します。

おかあさんは「やさしく思いやりのある、健康で元気な子に育ててほしいです」と話しています。

おとうさん：智也さん  
おかあさん：香代さん  
おじいさん：喜一さん  
おばあさん：誠子さん  
ひいおばあさん：ちよみさん



後列右端が佐藤さん

私は次の年に、結婚と同時に召集されソ連へ。その後シベリアのマンガンに収容されましたが、昭和24年に無事妻の元へ帰還しました。しかし、写真の中には戦地から帰ってこなかった人もいます。今でも、神社へ行くときと土俵があった場所を鮮明に覚えており、語り合う仲間がいなくなったのが残念です。

この写真は戦争真つただ中の昭和17年、地元の神社の祭典で相撲を奉納したときのものです。土俵は手作り、地区の婦人会や国防婦人会の炊き出しのおにぎりは美味しいものでした。当時は見せ物などない時代で、物珍しさから見物客は大勢。また、相撲をとる人もなく他の神社の祭典に招待されたこともありません。

# 思い出の一枚 147



佐藤 武雄さん(86)  
一関市室根町矢越字峰